

生涯学習推進計画（第2期）策定について（報告）

策定スケジュール

- 7月 8日 第1回生涯学習計画策定検討会
- 8月 市民アンケート実施
- 9月 上旬 児童・生徒アンケート実施
- 10月 4日 第2回生涯学習計画策定検討会
- 10月16日 第7回教育委員会委員協議会 状況報告
- 11月 5日 第2回社会教育委員会 状況報告
- 11月12日 第3回生涯学習計画策定検討会
- 11月 下旬 議会全員協議会 パブリックコメント実施報告
- 12月 6日 パブリックコメント実施（1月7日まで）
- 1月 中旬 第4回生涯学習計画策定検討会（最終）
- 1月 下旬 計画データ納品予定
- 2月 中旬 第11回教育委員会定例会 報告予定
- 2月 中旬 第3回社会教育委員会 報告予定
- 3月 下旬 議会全員協議会 報告予定

生涯学習推進計画(第2期)の構成について

現行計画(中間見直し)構成	第2期計画構成
第1章 計画の基本事項 1. 策定の趣旨 2. 計画の位置付け 3. 計画の期間 4. 策定の体制	第1章 計画の基本事項 1. 計画の策定について 2. 社会情勢、国・県の動向
第2章 清須市の生涯学習等を取り巻く状況 1. 社会動向・国の動き 2. 愛知県の動き 3. 清須市の状況 4. 清須市生涯学習推進計画の推進状況	第2章 清須市の生涯学習を取り巻く状況 1. 清須市の概要 2. 人口 3. 生涯学習関連施設の利用状況 4. 前期計画の施策内容と評価 5. 生涯学習の推進に必要な視点
第3章 基本方針 1. 基本理念 2. 基本目標 3. 施策体系	第3章 計画の基本的な考え方 1. 基本理念 2. 基本目標 3. 施策体系
第4章 基本施策 基本目標1 市民の自主的な学びを活性化するために 基本目標2 誰もが活躍できる社会を実現するために 基本目標3 生涯学習を推進するために	第4章 施策の展開 基本目標1 自己を高める学びの充実 基本目標2 学びでつながる地域づくり 基本目標3 未来へ受け継ぐ歴史・文化・芸術 基本目標4 学びを支える環境整備
第5章 計画の推進体制 1. PDCAサイクルによる計画の評価・検証 2. 計画の進行・管理	第5章 計画の推進 1. 推進体制 2. 計画の進捗管理と評価 3. 市、市民、市民活動団体等との連携
資料編 1. 清須市生涯学習推進計画策定経過 2. 清須市生涯学習推進計画策定検討会設置要綱 3. 清須市生涯学習推進計画策定検討会委員名簿	資料編 1. 生涯学習関連施設一覧・指定文化財一覧 2. 清須市生涯学習推進計画策定経過 3. 清須市生涯学習推進計画策定検討会設置要綱 4. 清須市生涯学習推進計画策定検討会委員名簿

1. 「第1章 計画の策定にあたって」について

「1 計画策定の趣旨」「2 社会情勢、国・県の動向」では、計画策定の目的、踏まえるべき社会情勢の背景を説明し、計画の必要性を示します。

2. 「第2章 清須市の生涯学習を取り巻く状況」について

「1 清須市の概要」「2 人口」では、清須市の地理的特徴、まちのあゆみ、人口推移・世帯数の推移を記載します。

「3 生涯学習関連施設の利用状況」では、過去5年間の社会教育施設、図書館、スポーツ施設の利用状況の推移を示します。

「4 前期計画の施策内容と評価」では、前期計画の体系や施策の取組内容や、今後の課題を示し、前期計画の成果指標・活動指標として設定されていた項目の評価を掲載します。

「5 生涯学習の推進に必要な視点」では、社会情勢の変化や前期計画における課題などから、生涯学習の推進に必要な視点をまとめます。

3. 「第3章 計画の基本的な考え方」について

「1 基本理念」「2 基本目標」では、10年間の基本計画と計画の方針について説明します。

「3 施策体系」では、計画の展開を示します。

4. 「第4章 施策の展開」について

アンケート調査結果から、ポイントとなる設問を抜粋し掲載することで現状と課題を示します。また、今後の方向性と施策の方向を設定します。関連する市の事業は「主な取組」としてまとめます。

5. 「第5章 計画の推進」について

計画の推進体制や進捗状況の管理方針、生涯学習に関わる各主体の役割を説明します。

6. 「資料編」について

過去5年間の社会教育施設、図書館、スポーツ施設の利用状況の変化や生涯学習関連施設一覧および市内の文化財一覧を掲載します。計画策定に関わった委員名簿及び審議過程、関連要綱をまとめます。

清須市の生涯学習に関するアンケート調査 報告書（抜粋版）

令和6年11月

清須市

I. 調査の実施概要

1. 調査の目的

「生涯学習推進基本計画」の新たな計画策定の基礎資料として、また、今後の市の生涯学習に関する施策や取組を推進する際の基礎資料として活用するためにアンケートを実施しました。

2. 調査対象

市内在住の16歳以上の方2,000名を対象（無作為抽出）

3. 調査方法

郵送配布、郵送回収及びインターネット回答によるアンケート調査

4. 調査時期

令和6年8月

5. 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000	706	35.3%

※インターネット回答は198件あり、回収数のうち28.0%でした。

※前回調査（平成25年）の回収率は35.8%でした。

6. 調査結果の見方

- ・ 基数となるべき実数（N）は、設問に対する回答数を表す。
- ・ 集計した数値（%）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（%）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがある。
- ・ 回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超える。
- ・ 調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合がある。
- ・ クロス集計表については、項目ごとに上位1位に濃い網掛け、上位2位に薄い網掛けをしている。
- ・ クロス集計では、性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。

7. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に得られた回答者の割合である。定数 1.96 は、信頼率 95%と設定した場合の定数である。

標本誤差 = $\pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$

N=母集団数（満 16 歳以上の清須市民）
n=比率算出の基数（回答者数）
P=回答比率

この計算式に従って算出される本調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

n \ p	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
706	±2.20%	±2.93%	±3.36%	±3.59%	±3.67%
500	±2.62%	±3.49%	±4.00%	±4.28%	±4.36%
300	±3.39%	±4.51%	±5.17%	±5.53%	±5.64%
200	±4.15%	±5.53%	±6.34%	±6.78%	±6.92%
100	±5.88%	±7.83%	±8.97%	±9.59%	±9.79%

Ⅱ. 調査結果の概要

1. 生涯学習の現状について

(1) 生涯学習の実施状況

- ・ 全体の 68.9%が過去一年間において何らかの学習を実施している。(問 10)
- ・ 前回調査(平成 25 年)と比較すると、「(この 1 年くらい)していない」が減少していることから、学習に取り組む人が増えていることがうかがえる。(問 10)

(2) 学習をしている人の状況

- ・ 前回調査(平成 25 年)と比較すると「パソコンやインターネットなど(情報端末、ゲーム機器などの活用を含む)」、「自宅での学習活動(書籍など)」は増加し、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育」、「公民館などが主催する講座や教室」が減少していることから、デジタルを活用した学習や自宅での学習活動が増加している一方で従来の対面式の講座や教室への参加は減少していることがうかがえる。(問 10-1)
- ・ 7 割以上が、過去 1 年間に行った学習に満足している。(問 10-2)
- ・ 学習を行う主な目的としては、10 代から 60 代では「知識・教養・技術を高めるため」と「仕事に必要な知識・技能を得るため」の割合が多い傾向が見られた。一方、60 代以上のグループでは、「健康・体力増進のため」の目的が最も多くなっており、年齢とともに学びの目的が変化することがうかがえる。(問 10-3)
- ・ 学習を行う頻度では、6 割以上の人が週に 1 日以上、8 割以上の人が月に 1 日以上学習している。(問 10-4)
- ・ 学習を行う時間帯は、平日の午前、午後、夜間が多い。(問 10-5)
- ・ 学習を行う上での困りごととして、20 代から 50 代では「仕事が忙しくて時間がない」、30 代から 40 代では「家事・育児などが忙しくて時間がない」という理由が多く、仕事・家事・育児と学びの両立が難しい状況がうかがえる。(問 10-6)
- ・ 学習成果の活用では、4 割以上が「自分の人生がより豊かになっている」と回答しており、学びが個人の豊かさや生活の質を向上させる重要な要素であることがうかがえる。(問 10-7)

(3) 学習をしていない人の状況

- ・ 学習をしていない理由について、「仕事が忙しくて時間がない」が最も多く、特に男性が多い。また、女性は家事や育児による時間の制約を強く感じていることがうかがえる。また、前回調査(平成 25 年)と比較すると、「費用がかかる」が増加しており、学習に対する経済的負担感が増大していることがうかがえる。(問 10-8)

(4) 生涯学習関連施設の状況

- ・ 生涯学習関連施設の利用では、「清須市立図書館」が最も多い。(問 11)
- ・ 男性の 6 割、女性の 5 割が、生涯学習関連施設を利用していない。(問 11)
- ・ 生涯学習関連施設を利用する上での問題点として、「使える時間帯が希望と合わない」、「使える日にちや曜日が希望と合わない」も多くあげられている。一方で 4 割以上が「特にない」と回答していることから、学習における時間的制約が問題としてあるものの、多くの人が生涯学習関連施設を利用する上で特に困っていないことがうかがえる。(問 12)

(5) 生涯学習の情報について

- ・ 「インターネット（携帯電話・スマートフォン）」が最も多いことから、インターネットが主要な情報源として幅広く利用されていることがうかがえる。20代から40代で「インターネット（携帯電話・スマートフォン）」が、50代から70代以上では「市や県の広報紙」が多いことから、年齢が上がるにつれて、紙媒体を利用する傾向が強いことがうかがえる。また、前回調査（平成25年）と比較すると、携帯電話やスマートフォンを通じた情報収集が増えている一方で、従来の紙媒体の利用は減少している傾向がみられる。（問13）
- ・ 学習に関する情報では、「講座・教室の情報」や「イベントの情報」が望まれている。（問14）

2. 生涯学習に対する今後の意向について

- ・ 今後の学習意欲について、7割以上が「してみたいと思う」、「どちらかといえばしてみたいと思う」と回答していることから、今後の学習に対して前向きな姿勢を持っていることがうかがえる。（問15）
- ・ 学習機会では、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」や「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が望まれている。（問15-1）
- ・ 学習成果の還元について、およそ6割が学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を自分以外のために「生かしたい」、「どちらかといえば生かしたい」と回答していることから、学びを通じて得たものを他者に還元する意欲が高いことがうかがえる。（問16）
- ・ 学習で身に付けた知識・技能や経験を生かす場所や機会として「家庭生活を通じて」、「学校・職場を通じて」の回答が多くなっている。年齢によっても差が見られ、特に70代以上では「ボランティア活動」や「地域活動（町内の活動）」などの地域貢献の意識が強いことがうかがえる。（問16-1）
- ・ 学習成果の還元に必要なこととして、「同じ分野に興味のある人々との交流」が最も多い。（問16-2）

3. 歴史・文化の振興に向けて

- ・ 半数以上が清須市の歴史・文化に誇りや愛着を感じている。60代、70代においては特に強い愛着が見られ、歴史・文化への愛着が代々受け継がれていることがうかがえる。（問17）
- ・ およそ6割が歴史・文化に関心を持っている。男女別では男性がより強い関心があり、特に60代、70代において関心が高まる傾向がうかがえる。（問18）
- ・ 清須市で特に誇りに思うものでは、「清州城」が最も多い。（問19）

4. 生涯学習の振興に向けて

- ・ 学校以外の場で、子どもに学ばせたいこととして、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」や「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が望まれている。（問20）
- ・ 今後、市が力を入れるべきだと思うことでは、「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など）」が最も多い。（問21）

Ⅲ. 調査内容

1. 回答者について

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(1つを選択)

(3) 職業

問3 あなたの職業をお答えください。(1つを選択)

(4) 居住地区

問4 あなたがお住まいの中学校区をお答えください。(1つを選択)

(5) 居住年数

問5 清須市での居住年数をお答えください。(1つを選択)

(6) 地域活動への参加

問6 あなたは現在、地域活動に参加していますか。(1つを選択)

(7) 普段の生活の満足度

問7 あなたは、普段の生活に満足していますか。(1つを選択)

(8) 人生における学習の必要性

問8 あなたは、何かを学ぶことが人生において必要であると思いますか。(1つを選択)

(9) 生涯学習の言葉の認知度

問9 あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(1つを選択)

2. 生涯学習の状況について

(1) 1年間の学習状況

問10 あなたは、この1年間くらいの間に、次に示す学習をしたことはありますか。（いくつでも選択可）

(2) 学習方法

問10-1 あなたは、どのような学習に参加したことがありますか。（いくつでも選択可）

(3) 学習の満足度

問10-2 あなたは、この1年間に行った学習（学習、趣味、スポーツ、ボランティア等）について満足していますか。（1つを選択）

(4) 学習目的

問10-3 あなたが、学習を行う主な目的は何ですか。（いくつでも選択可）

(5) 学習頻度

問10-4 あなたは、学習をどのくらいのペースで行いますか。（1つを選択）

(6) 学習を行う主な時間帯

問10-5 あなたが、学習を行う主な時間帯はいつですか。（3つまで選択可）

(7) 学習を行う上での困りごと

問10-6 学習を行うにあたってお困りの点は何ですか。（いくつでも選択可）

(8) 学習成果の活用

問10-7 あなたは、学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を主にどのように生かしていますか。（いくつでも選択可）

(9) 学習をしていない理由

問10-8 あなたが、学習をしていない理由は何ですか。（いくつでも選択可）

(10) 生涯学習施設の利用

問11 次の市の生涯学習関連施設の中で、よく利用するものはどれですか。（いくつでも選択可）

(11) 生涯学習施設を利用する上での問題点

問12 市の生涯学習関連施設を利用する上での問題点は何ですか。(いくつでも選択可)

(12) 学習に関する情報の入手方法

問13 あなたは学習に関する情報を、どのような方法で得ていますか。(いくつでも選択可)

(13) 希望する情報

問14 あなたはどのような学習に関する情報を望みますか。(いくつでも選択可)

3. 生涯学習に対する今後の意向について

(1) 今後の学習意欲

問15 あなたは、今後、学習(学習、趣味、スポーツ、ボランティア等)をしてみたいと思いますか。すでに生涯学習活動をしている方は、今後もしたいと思いますか。(1つを選択)

(2) 増えてほしい学習機会

問15-1 あなたは今後、どのような学習の機会が増えればいいと思いますか。(いくつでも選択可)

(3) 学習成果の還元意欲

問16 あなたは、学習(学習、趣味、スポーツ、ボランティア等)を通じて身に付けた知識・技能や経験を、自分以外のために生かしたいと思いますか。(1つを選択)

(4) 学習成果の還元機会

問16-1 学習で身に付けた知識・技能や経験を主にどのような場所・機会を通じて生かしたいと思いますか。(いくつでも選択可)

(5) 学習成果の還元に必要なこと

問16-2 あなたは、学習で身に付けた知識・技能や経験を自分以外のために生かすには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで選択可)

4. 歴史・文化の振興に向けて

(1) 歴史・文化への誇りや愛着、魅力

問17 あなたは、清須市の歴史・文化に誇りや愛着、魅力を感じていますか。（1つを選択）

(2) 歴史・文化への関心

問18 あなたは、歴史・文化に関心がありますか。（1つを選択）

(3) 清須市で特に誇りに思うもの

問19 あなたが清須市で、特に誇りに思うものは何ですか。（3つまで選択可）

5. 生涯学習の振興に向けて

(1) 子どもに学ばせたいこと

問20 あなたは、学校以外場で、小・中学生の子どもに特にどんなものを学ばせたいと思いますか。（3つまで選択可）

(2) 今後、市が力を入れるべきだと思うこと

問21 あなたは、今後、生涯学習をより活発にしていくために、市では特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(3) 自由記述

問22 市の生涯学習施策に関して、ご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。

77人（回答者の10.9%）から回答があり、うち「特になし」の類を除く、68人の回答について、主な意見を分類整理した。

【回答内訳】

項目	件数
講座	10件
施設	9件
子ども	9件
地域活性化	8件
生涯学習	7件
情報	6件
世代間のニーズ	4件
地域貢献	4件
その他	11件
合計	68件

【主な意見】（一部抜粋・要約しています）

1. 講座

- ・ 清須市が主催する講義が毎年同じ印象を受けるため、様々な分野の講師を招いて内容を充実させてほしい。
- ・ 生涯学習のきっかけとして、様々な情報コンテンツを充実させてほしい。清須市のホームページや一人でも学べる環境の整備も重要。

2. 施設

- ・ 図書館の利用時間を延長し、学習スペースを確保してほしい。
- ・ 公共のWi-Fiスポットを設置してほしい。

3. 子ども

- ・ 子どもたちの成長において、興味を持つ機会を提供し、学びを促進する環境を整えてほしい。
- ・ 小学校での部活動やプールの活動が減っており、子どもが運動する機会が少なくなっている。

4. 地域活性化

- ・ 異なる世代間の交流が必要。
- ・ 清須市は歴史があるが、市全体を活性化させるイベントや活動が不足していると感じる。

5. 生涯学習

- ・ 外国人を対象とした清須市の歴史を学ぶプログラムを設け、外国人が地域に溶け込めるよう支援してほしい。
- ・ 高齢者として生涯学習に興味があるが、参加の機会がない。学ぶことの楽しさを伝えたい。

6. 情報

- ・ 市の生涯学習施策についての情報を積極的に発信し、参加しやすい取り組みをしてほしい。
- ・ インターネットでの情報発信を充実させてほしい。

7. 世代間のニーズ

- ・ 高齢者や子ども向けの講座が多い印象で、中間層向けの講座が少ないと感じる。中間層を対象にした講座があれば参加したい。
- ・ 高齢者や子ども中心の講座が多く、仕事をしている世代には時間や曜日が合わず利用しづらい。

8. 地域貢献

- ・ 地域に多くの資格や技術を持つ人がいるが、それを活かせる機会がないため、そうした場を作してほしい。
- ・ 他県から移住した自分がボランティアや地域貢献をしたいと思っても、門戸が小さい（情報が少ない、一元化されていない）と思う。